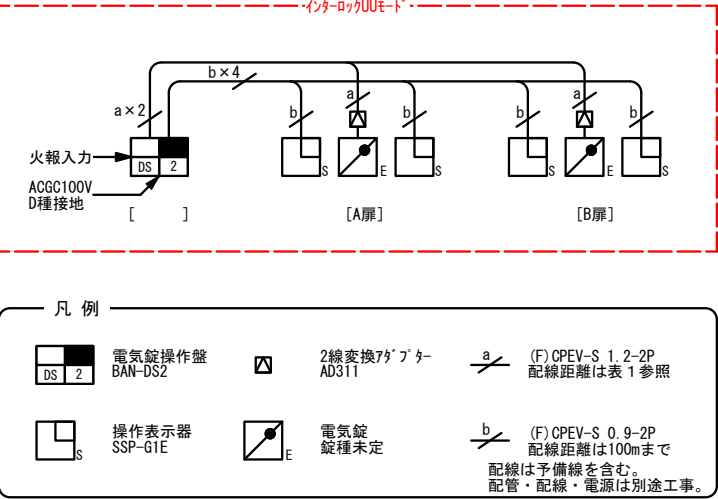


1. システム概要

- 本電気錠システムは、電気錠扉2箇所を対象とします。
・電気錠2箇所と連動し、インターロック制御します。
※他社との連動に関しては、別途打ち合わせが必要です。
- (1) 電気錠操作盤(BAN-DS2)を1台設置し、電気錠扉2箇所をインターロック制御します。
電気錠操作盤(BAN-DS2)は、
1) 電気錠2回線のインターロック制御します。
2) 各扉(電気錠)の状態(扉の開閉、施錠錠、警報)を操作盤面上に表示します。
3) 盤面操作により各扉(電気錠)を回線毎に「施錠保持または解錠保持／一回解錠(UまたはLモード運用時)」できます。
但し、インターロック制御中に、盤面上で操作するとインターロック制御が出来なくなります。
4) 火報盤からの火災発報信号により、制御している扉(電気錠)を一斉に解錠します。
復旧方法は、火報入力が切れた後、全扉を閉扉状態にし施錠操作(キーで施錠、もしくは解錠ボタンを押す等)することで
インターロック制御状態に戻ります。
- (2) 操作表示器(SSP-G1E)を計4台設置し、それぞれ対応する電気錠扉各1箇所を監視・操作します。
操作表示器(SSP-G1E)は、
1) 扉の状態(扉の開閉、施錠錠)を操作盤面上に表示します。
2) 操作者の盤面操作により、扉(電気錠)を個別に一回解錠できます。

2. システム系統図



3. 外観図

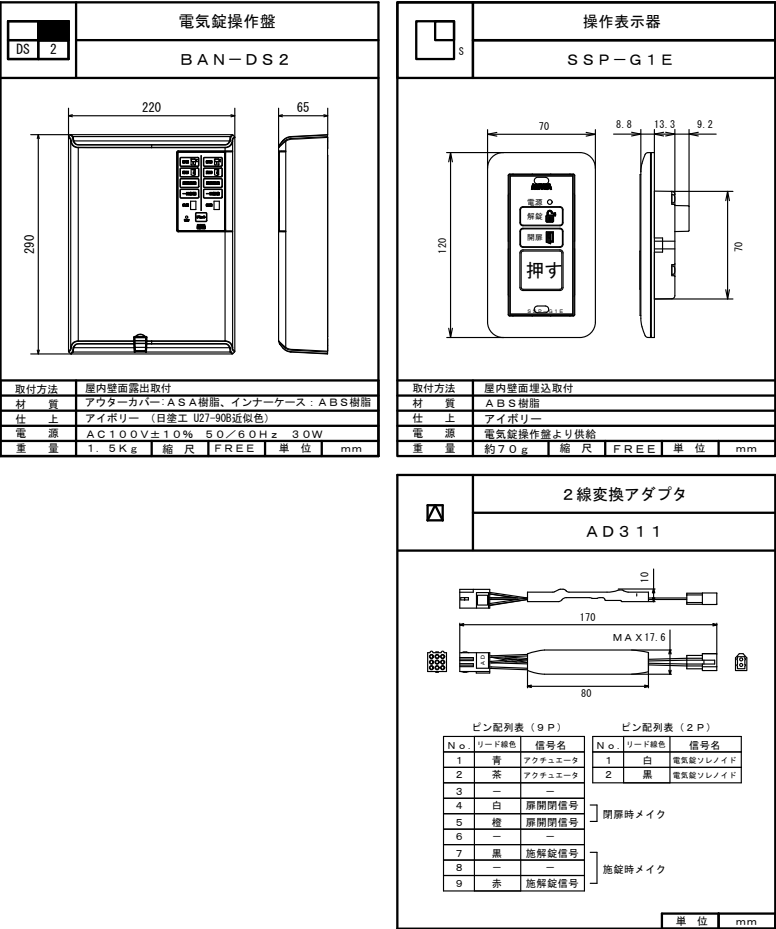
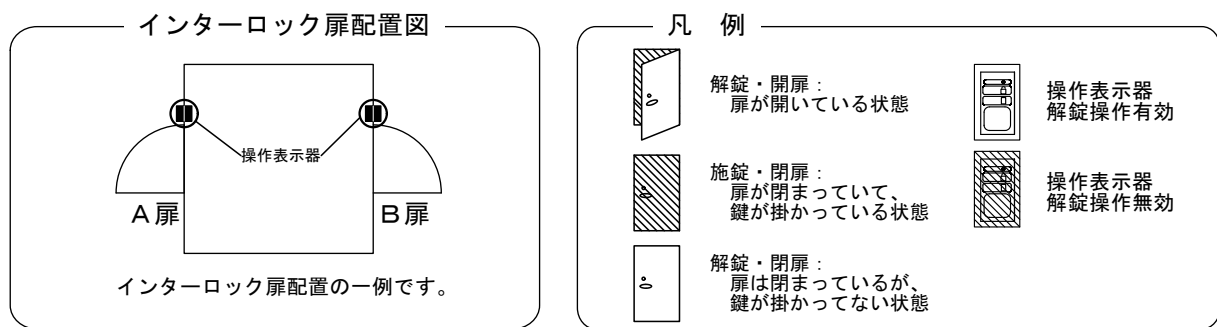
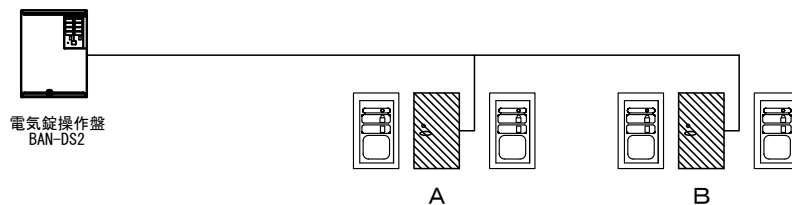


表 1
配線距離 適用: BAN-DS1, BAN-DS2, BAN-DS2C

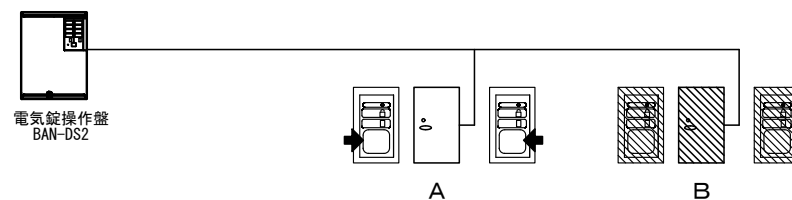
電気ストライク 電気錠 線径	電気錠～制御盤間 (m)				
	ASE	AL3M, AL4M AFF, AFG	ALA, ALG50 AUS, ANS	AUT (A), APPT (A), APBT AUR (A), APPR (A), APBR, EL-101 EM2L600, EML600, EML1200 ALGT, ALGR, AST, ASR, AD219	ASZ
DENコード 9C (0.3mm ²)	10	20	30	40	60
0.65mm	20	25	50	60	75
0.9mm	40	40	80	120	120
1.2mm	60	60	120	180	180



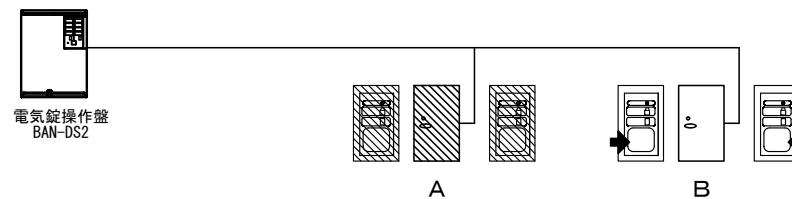
- 1) 通常、待機時（A・B扉、全て閉扉の時）、全ての扉は施錠しています。
A・B扉は操作表示器による解錠操作を行なうことができます。（初期状態）



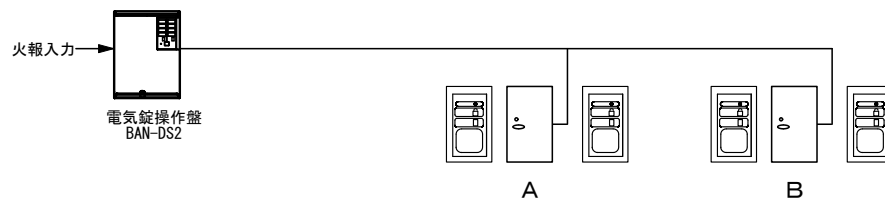
- 2) 操作表示器による解錠操作でA扉を解錠すると、B扉は操作表示器による解錠操作が無効になります。
A扉が施錠すると、初期状態に戻ります。



- 3) 操作表示器による解錠操作でB扉を解錠すると、A扉は操作表示器による解錠操作が無効になります。
B扉が施錠すると、初期状態に戻ります。



- 4) 火報信号を入力すると全ての扉は、一斉解錠し、インターロック制御しなくなります。
火報信号が切れ全ての扉が閉扉し、施解錠操作（キーで施錠もしくは解錠ボタンを押す等）すると
インターロック制御に戻ります。



※電気錠操作盤の盤面操作は
行わないでください。
インターロック制御が崩れます。

※扉のUモード、Lモード設定および作動内容は
電気錠操作盤の設定で変更可能です。
詳細は電気錠操作盤の取扱説明書を参照ください。